

藤井 新所長就任挨拶 —新日本製鐵(株)八幡製鐵所—

新日本製鐵(株)八幡製鐵所では、さる4月23日、北九州市戸畑区飛幡の八幡製鐵所総合センターにおいて、4月1日付けで新しく就任した藤井康雄新所長の記者会見が行われた。

藤井所長は、「皆さん、ご安全に！ 2年ぶりに八幡の勤務となりました。2年ぶりの八幡は非常に変わったなという印象を受けています。しかも非常にいい方向に変わっているとの実感を持っています。まさに今、現場を見ながら、また所員の皆さんと議論しながら、これから製鐵所をどうしていくかということと議論しているところです。したがって、現時点で具体的なことは述べられないが、今現在思っていることをお話しします。

これは4月2日に所員にお話したことです。3つの信頼を大切にしようというお願いをしました。1つ目は、お客様からの信頼をしっかりと得るようにしようということ。八幡製鐵所は鉄鋼製品を造り、お客様に提供することで成り立っている製鐵所ですから。2つ目は地域社会からの信頼をさらに確固たるものにしたいということです。防災、環境問題などで地域社会にご迷惑をかけないようにし、そして当然ですが、法律を遵守して社会のなかで認められる企業にしていきたい。3つ目は、八幡の地で働く方からの信頼です。全員が働き甲斐を感じて働いてもらうための一番は安全の問題で、安全確保にしっかり取り組んで死亡災害や怪我が出ない職場にしていきたい。この3つを徹底的に取り組むなかで製鐵所を良くしていきたいと考えています。

足下の課題は、フル生産が続く中で、1トンでも多く、生産しお客様に提供していきたいと考えています。

中長期的に考えると、八幡は技術レベルの非常に高い製品をもっており、それが面々で八幡を支えている。技術レベルの高い製品を造っていくこと、そして数年ごとにより技術レベルの高い製品を生み出していくこと、これを繰り返していかなければ八幡の存在価値はありません。技術開発と製品の造りこみにしっかり取り組みたい。2つ目は、今年4月2日に新人が72名入社しました。中途採用も募集しており、今年は100名前後の方が入社することになると思います。まだ決定していませんが、来年も再来年もほぼ同規模の人を入れたいと思いますし、その意味で一般的には人材育成が大きなポイントになると思います。若い人たちを、これから製鐵所を支えていただく人材にどう育てていくかが大きなポイントと考えています。以上、3週間を過ぎたところで思っていることを述べさせていただきます。」と挨拶をおこなった。

藤井康雄（ふじい やすお）氏は、昭和26年10月14日、東京都に生まれた。昭和52年3月に京都大学工学研究科数理工学専攻修了し同年4月に新日本製鐵(株)に入社した。同58年6月八幡製鐵所薄板部第一冷延工場三冷延掛長、同62年6月八幡製鐵所技術部生産技術室生産技術掛長、平成1年5月八幡製鐵所電磁鋼板部電磁鋼板工場長、同3年4月八幡製鐵所生産技術部生産技術室部長代理、同6年11月本社生産技術部部長代理、同8年7月本社技術総括部生産設備企画室長、同10年7月八幡製鐵所生産技術部次長、同11年4月八幡製鐵所設備部長、同13年11月八幡製鐵所生産技術部長、同15年4月八幡製鐵所副所長、同17年4月参与建材事業部堺製鐵所長、同6月取締役建材事業部堺製鐵所長、同18年6月執行役員建材事業部堺製鐵所長、同19年4月執行役員八幡製鐵所長に就任し現在に至る。

また、単身赴任ではなく、奥さんとお二人で八幡に住むという愛妻家であり、趣味は、昔はスキーをやっていたが、現在は、旅行とクラシックのコンサートに行くこと。お酒は、ビールからはじまりなんでも、そのなかでも焼酎が好きであると明るく語った。



「地域社会からの信頼を確固たるものにしたい」
と語る 藤井所長